

校長室だより「伸びゆく梢」Ⅲ

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

1学期も残すところ3週間となりました。1年生の防災学習と3年生の修学旅行を無事に終えることができ安堵しています。また、3年生の文化面の活躍が光った8月9月でしたので、紹介します。



さすが船迫中生！3年生の活躍が光っています！

「柴田地区英語暗唱弁論大会」8月28日

禄郎さんが弁論で部で優秀賞。暗唱の部で正則さんも優秀賞。2名とも管内の大会に駒を進める快挙を成し遂げました。その後の9月11日の管内大会では、見事、禄郎さんが最優秀賞に輝き、県大会出場となりました。禄郎さんも正則さんも放課後英語楽校や柴田町のJOV活動（さくらまつりに訪れる海外の方をおもてなしする活動）に参加し、英語力に磨きをかけてきました。その成果の表れですね。



「少年の主張仙南大会」8月29日

愛美さんが大河原管内21校の中学校から集まった原稿審査を経て、12名の代表に選ばれました。そして、見事、優秀賞を受賞しました。（管内の3位以内に相当）愛美さんは夏休み中も原稿の手直しや、表現の練習に熱心に取り組み素晴らしい発表でした。



学びが多かった修学旅行でした



9月6日から2泊3日で東京方面の修学旅行を実施しました。コロナの影響で2年前は東京から北海道に場所を変更しての修学旅行。昨年は東京方面としましたが、安全を考え全てバス移動で班ごとの自主研修は見合わせました。今年はコロナが第5類になったことで、従来通りの自主研修も取り入れた計画にしました。大都会東京での班ごとの研修は、様々なエピソードがありましたが、時間もルールも守り、無事に計画通りに行われました。

帰りのバスが白石インター手前で、渋滞に遭い、加えて雨天でお迎えの保護者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたが、全員が笑顔とたくさんのお土産をもって無事に帰宅できました。ご協力に感謝いたします。バスの中で帰校式を行ったのですが、実行委員の陽愛さんの感想が、とても心がこもっていて素敵だったので紹介します。

みなさん、2泊3日の修学旅行お疲れさまでした。修学旅行前に立てた自分の目標を達成し、楽しむことはできましたか？ 自主研修はとくに不安が大きかったと思いますが、グループ内で協力し合うことができ、まさに最高の修学旅行にすることができましたね。一人一人、3日間でたくさんの思い出ができたと思います。それを月曜日からの総合の時間で各自しっかりまとめましょう。家に帰ったら家族に感謝の気持ちを伝えましょう。

ツーリストの松田さん。暑い中、私たちがスムーズに行動できるよう、常に先回りしてサポートしていただき、ありがとうございました。3日間安心して過ごすことができました。直接、お話する機会は、あまりありませんでしたが最後に一緒にピンゴをすることができて楽しかったです。ありがとうございました。

木村さん。重いカバンを持ってずっと行動を共にしてくださり、大変だったと思いますが、私たちの活動の様子をたくさん写真に収めていただきありがとうございました。卒業アルバムで修学旅行の写真を見るのが今から楽しみです。これからも行事がありますので、またよろしくをお願いします。

運転手さん、バスガイドの菊地さん。東京から船迫まで安全に送り届けてくださりありがとうございました。東京の地名や歴史を知ることができ勉強になりました。

いろいろな方のお陰で修学旅行に行くことができるということが、3日間でよくわかりました。お世話になったみなさんに感謝の気持ちを込めて挨拶しましょう。

ありがとうございました。

(陽愛さんの原稿より)



たくさんの笑顔の
写真が撮れました。

